

Indeed Japan、サステナビリティに関する仕事調査を実施 直近5年間で「SDGs」を含む仕事掲載数は700倍以上に 「ダイバーシティ」は安定的な推移

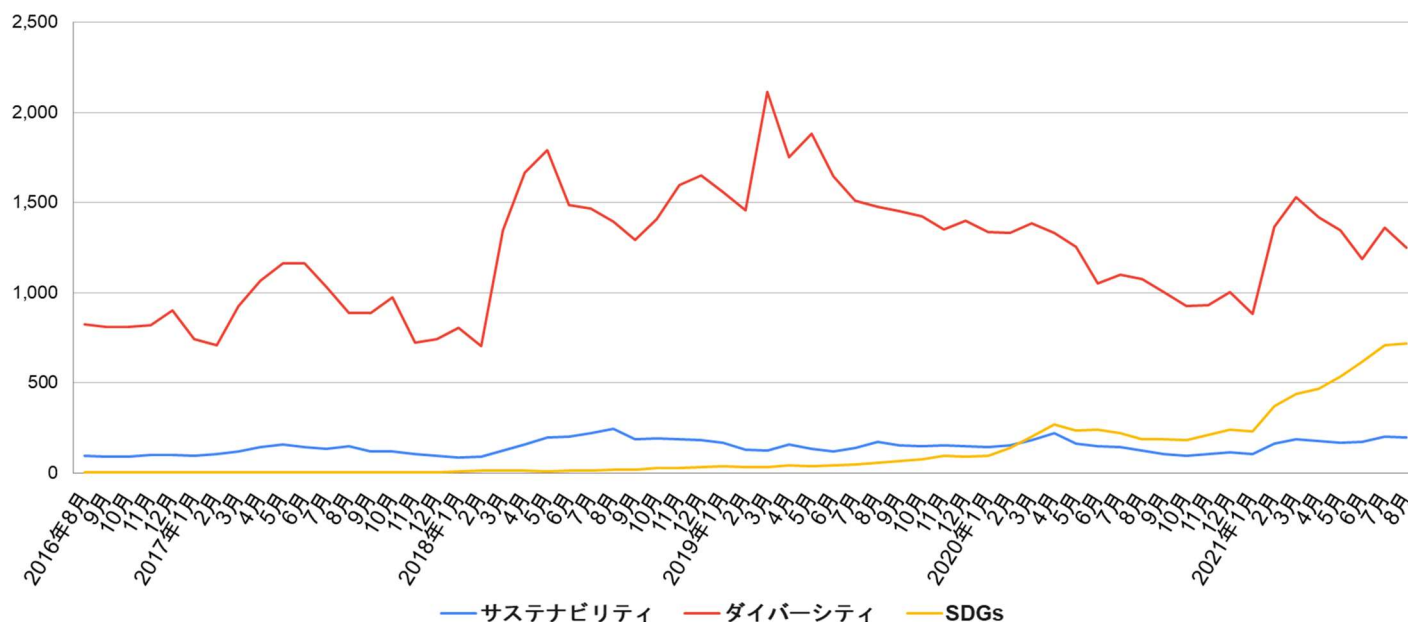
世界 No.1 求人検索エンジン* 「Indeed（インディード）」の日本法人である Indeed Japan 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：大八木 紘之、<https://jp.indeed.com> 以下 Indeed）は、企業でサステナビリティに関連する仕事についての掲載数および検索数について調査を行いました。

2015年9月に国連サミットでSDGs（持続可能な開発目標）が採択され、毎年9月25日を含む約1週間を「SDGs週間」とし、今年も9月17日から26日の期間に、世界各国でSDGsの目標達成に向けて意識を高め行動の変化を促すイベントなどが行われました。

日本でも、持続可能な社会を実現する取り組みを進める企業が増え、サステナビリティ（持続可能性）を推進する役職や部署を設ける動きも進んでいます。そこでIndeedでは、企業内でサステナビリティを担当する仕事に関して、「サステナビリティ」「ダイバーシティ」「SDGs」それぞれのワードを含んでいる仕事の掲載数および、これらの仕事について検索された数について、過去5年間の推移を調査しました。

1) サステナビリティに関する仕事掲載数、「SDGs」は5年間で700倍以上の増加

サステナビリティに関する仕事掲載数の推移
 (2016年8月～2021年8月、100万件あたりの平均掲載数)



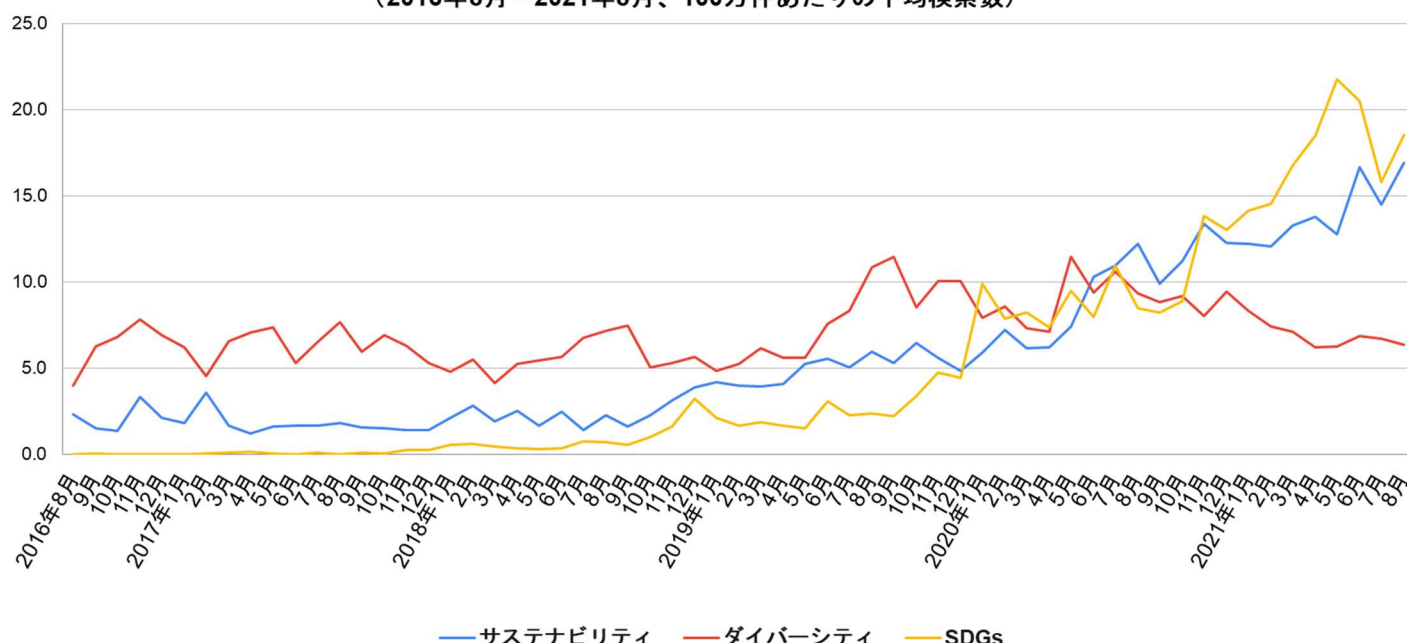
【注】上記データは、2016年8月から2021年8月における仕事掲載数100万件あたりの各月の平均推移を示したものであり、実数字ではありません。

「サステナビリティ」「ダイバーシティ」「SDGs」を含む仕事掲載数は、調査開始時期の2016年8月と直近である2021年8月を比較すると、いずれも増加していることがわかりました。

「サステナビリティ」は、安定的な右肩上がりの推移がみられ、2021年8月の掲載数は2016年同月の約2.0倍でした。「ダイバーシティ」の仕事の掲載数は、2016年の時点で他よりも多く、特に2018年から2019年にかけて急速に増加し、2019年3月には最大の掲載数を獲得しました。調査期間において、直近の2021年8月の掲載数は、調査開始時の2016年同月と比較すると約1.5倍増加していることがわかりました。「SDGs」の仕事の掲載数は、2016年から2019年にかけて、あまり変化がみられませんでした。しかし、SDGsに関する社会的関心の高まりとともに仕事掲載数も急増し、2020年3月には「サステナビリティ」を上回り、直近の8月に至るまで、増加傾向にあることがわかりました。2021年8月の掲載数は、2016年同月と比較すると約717.0倍と、非常に大きな増加率となっています。

2) サステナビリティに関する仕事検索数、「サステナビリティ」「SDGs」が2019年から急増

サステナビリティに関する仕事検索数の推移
(2016年8月～2021年8月、100万件あたりの平均検索数)



【注】上記データは、2016年8月から2021年8月における仕事検索数100万件あたりの各月の平均推移を示したものであり、実数字ではありません。

2016年と2021年の「サステナビリティ」「ダイバーシティ」「SDGs」の仕事検索数を比較すると、これら全てにおいて増加していることがわかりました。

「サステナビリティ」の仕事検索数は、2016年8月から2年間は横ばいでしたが、2019年から継続的な増加がみられました。2016年8月と2021年同月の検索数を比較すると、約7.4倍増加していました。「ダイバーシティ」は仕事掲載数と同じく、2016年の時点で他の二つの求人情報よりも多く検索されていたことがわかりました。調査期間において、「ダイバーシティ」に関する仕事掲載数は、2020年5月を境に減少傾向にありますが、調査開始の2016年8月と2021年同月の求人掲載数を比較すると、約1.6倍増加していることがわかりました。「SDGs」は、仕事掲載数と同じく2016年から2017年にかけては、大きな変化はなく、ほとんど検索動向もみられませんでした。しかし2018年から徐々に増加し始め、2019年に急上昇し、2020年1月には「サステナビリティ」と「ダイバーシティ」を上回りました。「SDGs」に関連する検索数が増加し始めた2018年8月と2021年同月を比較すると、約26.4倍増加していることがわかりました。

■総括

企業内でのサステナビリティに関連した仕事は、この5年間で掲載数、検索数ともに増加していることがわかりました。

「ダイバーシティ」については、2016年時点で既に一定の掲載数、検索数があり、日本においてもかねてからの関心の高さがうかがえました。「ダイバーシティ」の仕事掲載数は、2020年の「サステナビリティ」「SDGs」の増加にも関わらず、依然として全体的な投稿数は3つのカテゴリーの中で一番多いことがわかります。しかし一方で、2019年に増加し始めた「サステナビリティ」「SDGs」の仕事検索数に関しては、同年11月頃に「ダイバーシティ」を上回りました。このことから、近年の求職者の「サステナビリティ」「SDGs」に関する仕事への急速な興味の高まりがうかがえます。

「SDGs」については、はじめは掲載数、検索数ともに大きな動きがありませんでしたが、2019年頃から急速な増加がはじまりました。2019年は国連の「SDGs サミット」が開かれ、2020年からは「行動の10年」とし、取り組みを加速させていくことが呼び掛けられました。それに呼応するかのようにより、SDGsに関して企業、求職者の双方の関心の高まりがうかがえ、サステナビリティに関連した仕事の需給の高まりが見られました。

「We help people get jobs.」をミッションに掲げるIndeedは、これからも全ての求職者が自分に合った仕事を見つけるためのサポートを行って参ります。今後も、Indeedに蓄積された仕事に関するデータを用いて、求職者と雇用主双方にとって役に立つ情報を提供してまいります。

■調査概要

- 調査主体：Indeed Japan 株式会社
- 調査対象期間：2016年8月1日～2021年8月1日
- 調査対象国：日本
- 調査方法：対象期間における、Indeed上で職種名に「サステナビリティ」「ダイバーシティ」「SDGs」を含む仕事の掲載数と検索数を調査し、100万件あたりの数値を表示。

Indeed (インディード) について

Indeedは、世界で最も多くの求職者に利用されている世界 No.1 求人検索エンジン*です。現在60カ国以上、28の言語でサービスを展開し、求職者はパソコンやモバイルで何百万もの求人情報を検索することができます。月間で2億5千万以上のユーザーがIndeedを利用**し、求人検索や履歴書の登録、企業の情報検索を行っています。詳細は <https://jp.indeed.com> をご覧ください。

*出典：Comscore 2020年3月総訪問数

**出典：Google Analytics 2020年2月ユニークビジター数

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

Indeed Japan 株式会社 広報窓口 E-mail: jp-pr@indeed.com
Indeed Japan 広報事務局 TEL: 03-4531-0204 / E-mail: indeed-pr@ozma.co.jp